

アイガモが稲の列を縫うように進む



神戸新聞NIEワークシート／小学校高学年～中学生・社会・国語・学活・総合、朝NIE

学校名( )  
年 名前( )

## 「一石六鳥」の主役たち

### アイガモ農法

(市川町上牛尾)

背丈を伸ばし始めた稲の間から、「ビヨビヨ」と声がかもれてくる。泥をかき上げながら、忙しく泳ぎ回るアイガモのひなたちだ。

「除草、糞による施肥、除虫、かき回して稲の根に刺激を与える中耕。見てかわいい、そして食べておいしい。一石六鳥なんです。」計2反半(約2500平方

ど)の田んぼに65羽を放している牛尾武博さん(64)は目を細める。電気柵、ネット、小屋を設置し、

田植えから1週間後に田に放したら、あとはエサをやるだけ。稲の穂も食べてしまうため、穂が出る8月ごろには役目を終え、休耕田に移される。

「除草剤も殺虫剤も使わずに済んで、つらい草取りもお任せ。『極楽農法』とも言われるんですよ」と牛尾さん。休耕田で肥育され、こってり脂が乗った年末には、食卓の主役となる。(山崎 竜)

## 大地の譜 うた 農の歳時記

13

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

①牛尾さんが「一石六鳥」と言っている、良い点を六つ、それぞれ2文字～4文字で書きましよう。

6	5	4	3	2	1

②8月ごろには役目を終え、休耕田に移されるのはなぜですか。


③この記事を読んで思ったことや、さらに調べたいことについて書きましよう。